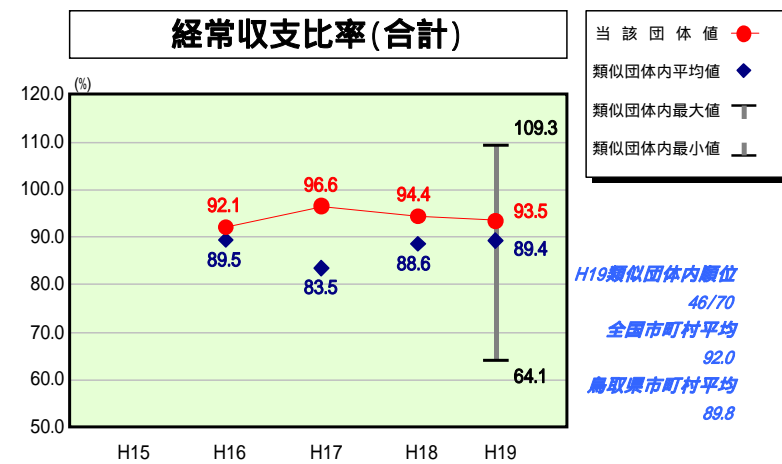


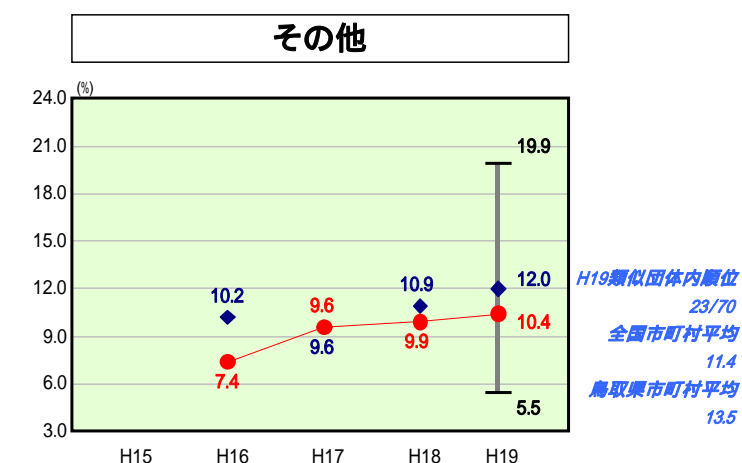
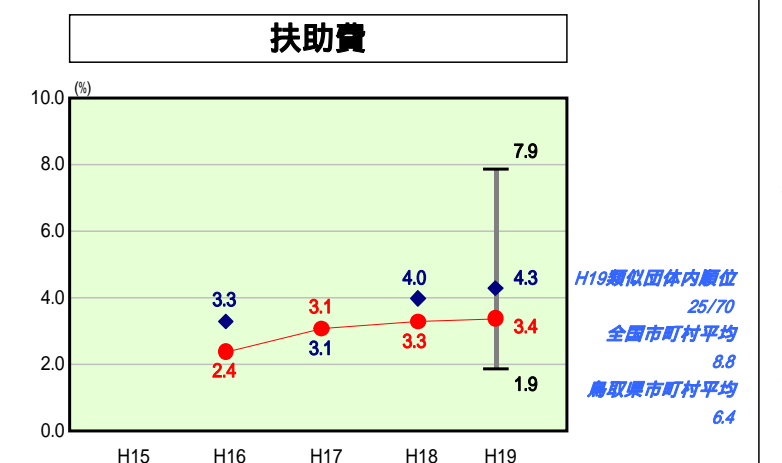
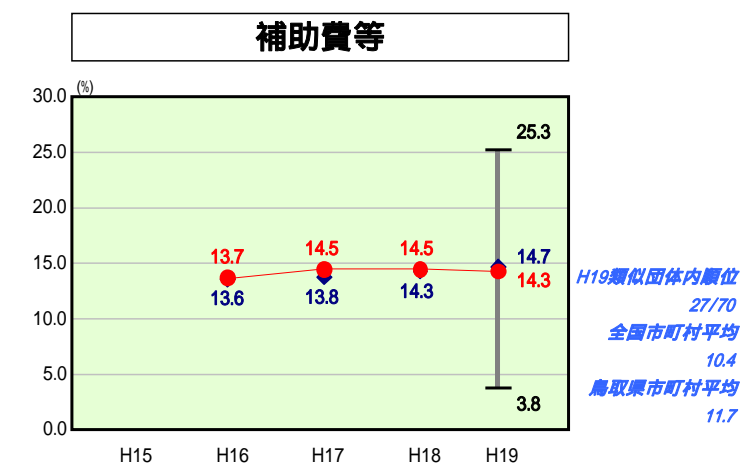
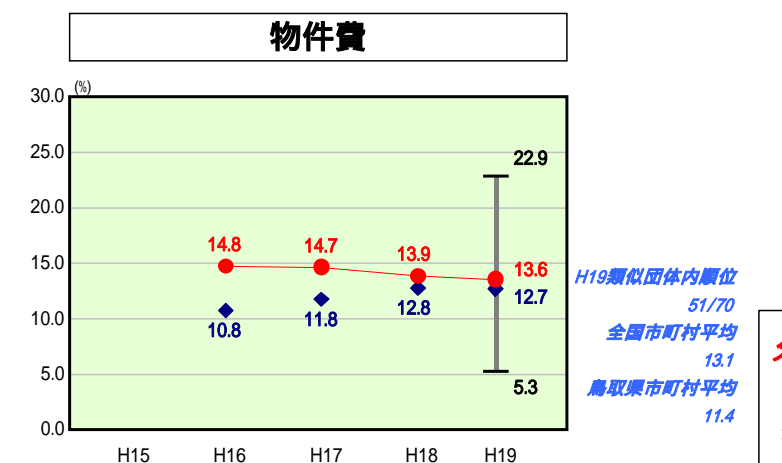
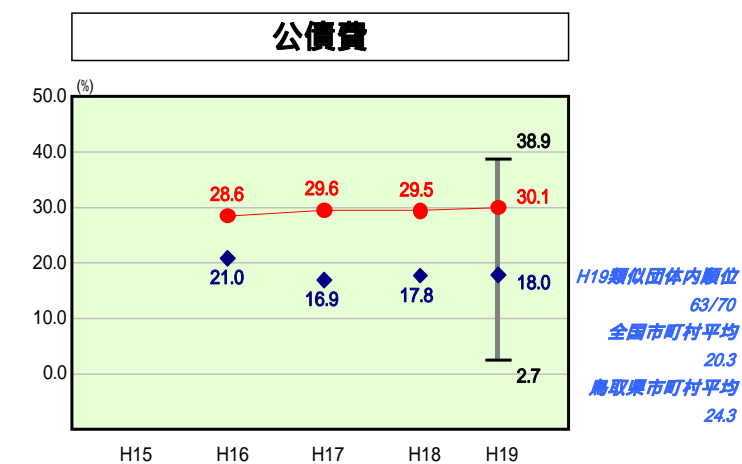
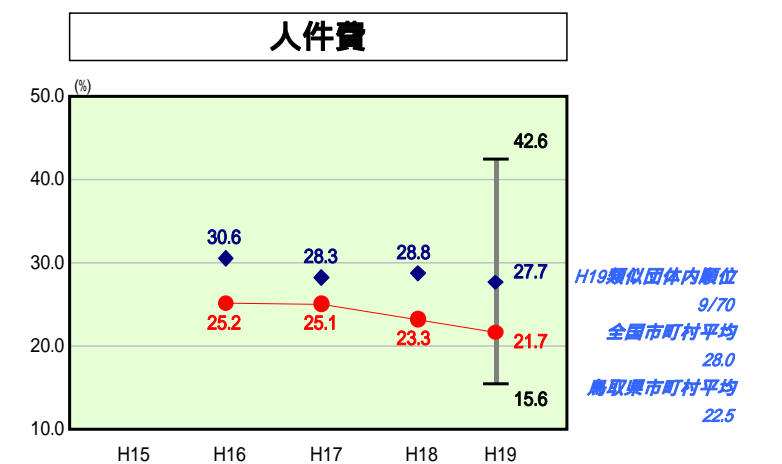
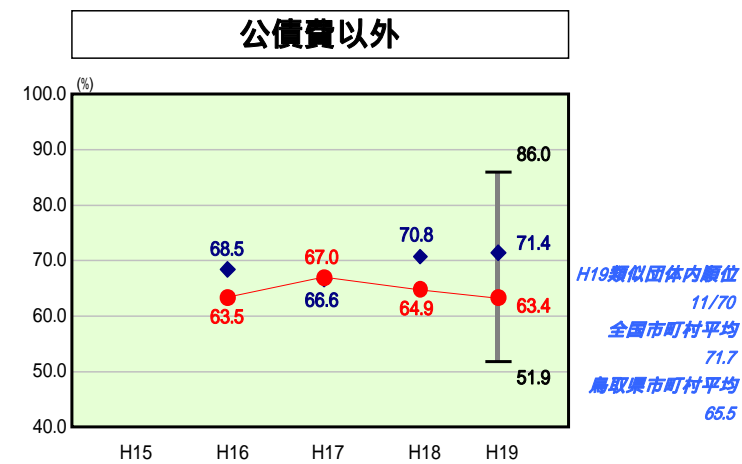
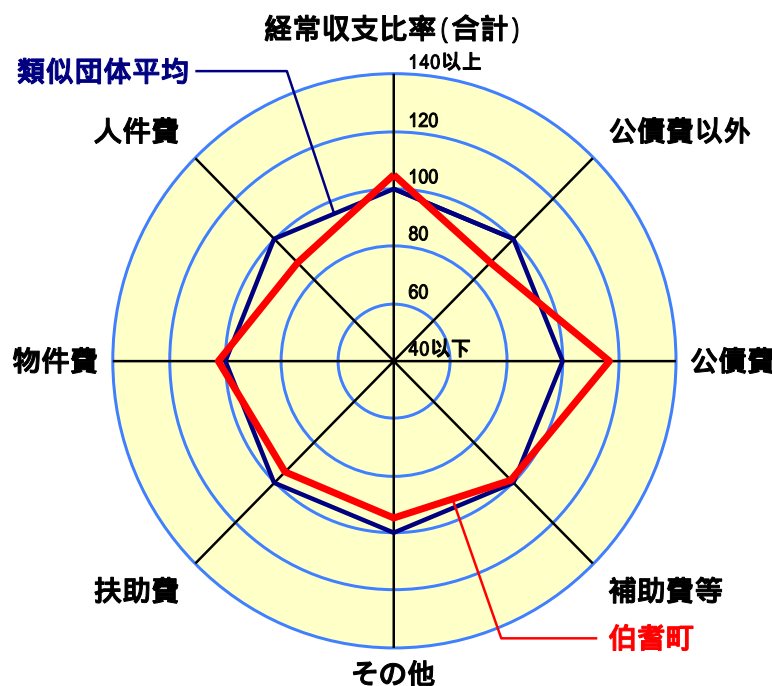
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

鳥取県 伯耆町

経常収支比率の分析



人口	12,091人(H20.3.31現在)
面積	139.45 km ²
歳入総額	7,012,924千円
歳出総額	6,780,421千円
実質収支	231,235千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【経常収支比率】
職員給与カットによる人件費の削減や補助金の見直し等により減少傾向にあるが、過去の投資的事業に係る地方債の償還がピーク(平成17年度～平成19年度)を迎えており、依然として高い比率となっている。

【人件費】
職員数の減や給与カットの拡大(3% 3～5%)等により減少傾向にある。

【物件費】
指定管理者制度導入による委託料の見直し等により減少傾向にある。

【扶助費】
制度の拡充や、福祉サービスの多様化により、類似団体等の推移と同様に増加傾向にある。

【公債費以外】
総人件費の抑制、補助費等の削減により、減少傾向にある。

【公債費】
過去の投資的事業に係る起債償還が、ピーク(平成17年度～平成19年度)を迎えており、増加傾向にある。平成20年度以降は、起債の抑制及び高利率の地方債繰上償還により、減少傾向となる見込みであるが、類似団体と比べると非常に高い数値となっており、引続き公債費負担適正化計画等により適正な公債費管理を行っていく必要がある。

【補助費等】
補助金の見直し(平成19年度から適用)等により、わずかに減少している。類似団体平均とは同程度の数値である。

【その他】
類似団体に比べると低い数値であるが、老人保健特別会計繰出金が年々増加していることや、農業集落排水事業特別会計繰出金の起債償還に伴う増加等により増加傾向にある。